

大林グループ CSR 調達ガイドラインに関するアンケート調査の結果について（2022 年度）

1 調査概要

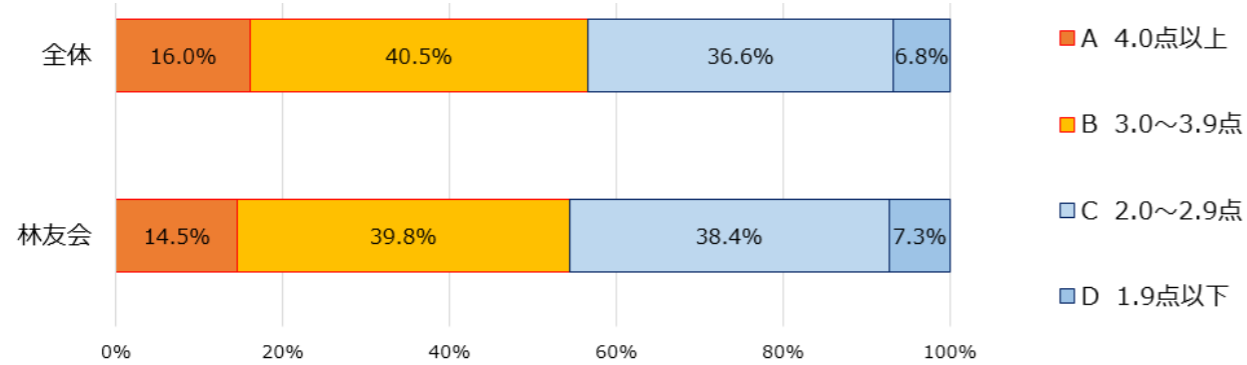
- (1) 調査期間 2023 年 2 月 1 日～ 3 月 31 日
- (2) 調査対象企業 大林組林友会加盟企業および継続的に取引がある企業（1,458 社）
- (3) 調査目的 CSR 調達ガイドラインの理解浸透および CSR 調達への取り組み状況把握、リスクアセスメント
- (4) 設問数 10 項目、全 33 門
- (5) 評価方法 各設問 5 点満点（0～5 点）で採点[※]し、取り組み状況进行评估

※採点の凡例（2 点と 4 点は選択肢が多い設問のみ設定）

- 0 点：実施していない
- 1 点：過去に問題があり改善に向けて取り組み中
- 2 点：今後 1 年以内の実施
- 3 点：実施している（調査・規程なし／不定期）
- 4 点：実施している（社内調査）
- 5 点：実施している（外部監査／調査・規程あり／定期）

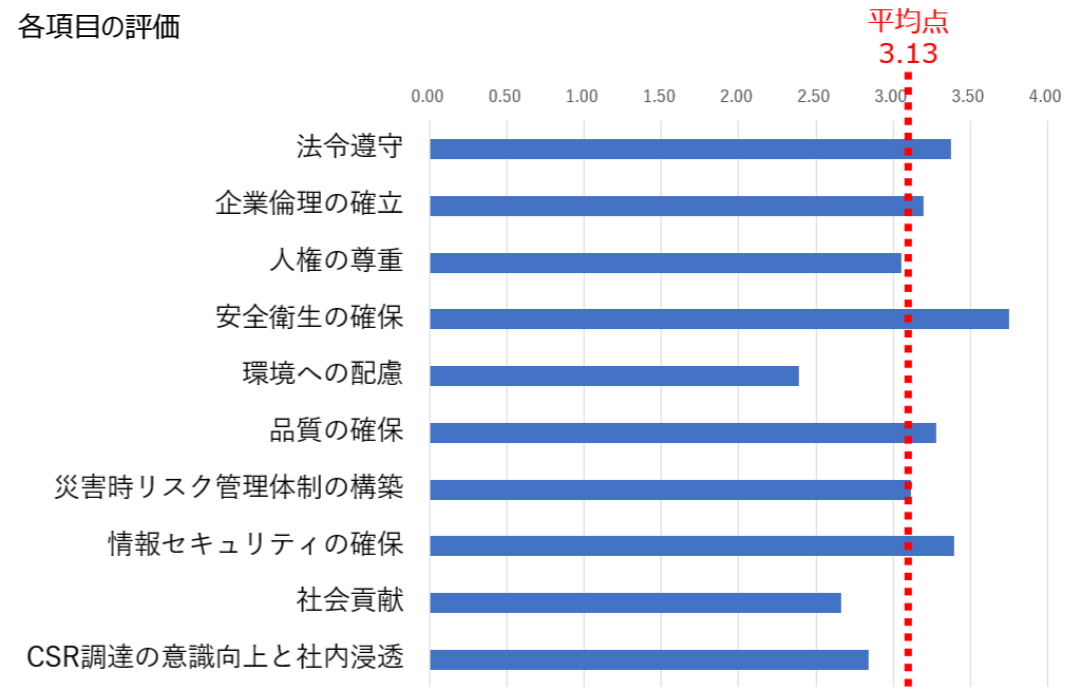
2 アンケート回答状況

- (1) 回答企業数 1,299 社（回答率 89.0%）
- (2) アンケート回答企業からの調達割合 79.4%
- (3) 全設問平均点 3.13
- (4) 評価ランク別分布



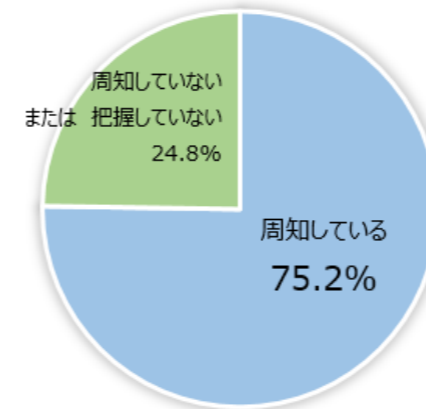
3 アンケート回答結果

(1) 各項目の評価

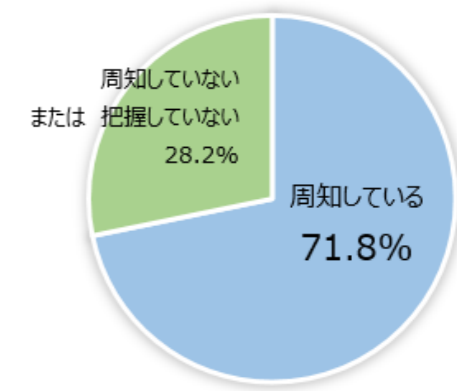


(2) 各周知状況

ア 大林グループ CSR 調達ガイドライン



イ 大林グループ企業倫理相談・通報窓口（内部通報制度窓口）



(3) 評価結果

- ・全設問の平均点は 3.13 となり、取り組みが一定程度行われていることが確認できた。（「実施している」場合は 3.0 点以上）
- ・「法令遵守」「安全衛生の確保」「品質の確保」「情報セキュリティの確保」は高いスコアだった。一方、「環境への配慮」「社会貢献」「CSR 調達の意識向上と社内浸透」についてはスコアが低く、今後の取り組みが課題。
- ・「大林グループ CSR 調達ガイドライン」「大林グループ企業倫理相談・通報制度」は、7 割以上の企業で周知が進んでいるものの、継続して更なる理解促進・浸透が必要。

以上